

# 職能科通信 29号

2015年6月発行

職能科通信

検索

〒243-0121  
神奈川県厚木市七沢 516  
神奈川県リハビリテーション病院  
職能科  
TEL&FAX 046-249-2575

## 新年度を迎えて

新年度を迎え、職能科では新採用職員や人事異動により新体制となりました（写真1）。今年度も、神奈川県リハビリテーション病院の入院患者さん及び外来患者さん、七沢更生ライトホームと七沢学園の利用者さん、そして神奈川県民の皆様や地域の医療機関・支援機関の皆様に、医療機関の立場で提供する職業リハビリテーションサービスの質向上を目指して実践と研究を行ってまいります。今後とも、ご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。（松元 健）



写真1 職能科職員

## 平成26年度の支援のまとめ

平成26度は571名の方の支援を行いました。外来患者さん50%、入院患者さん44%、七沢更生ライトホームと七沢学園の利用者さんそれぞれ3%でした。障害別の内訳では、外傷性脳損傷・脳血管障がい・脳疾患など脳損傷の方が79%、脊髄障がい・その他（難病など）の方は18%でした（図1）。また、就職・復職をされた方は58名でした（表1）。（松元 健）

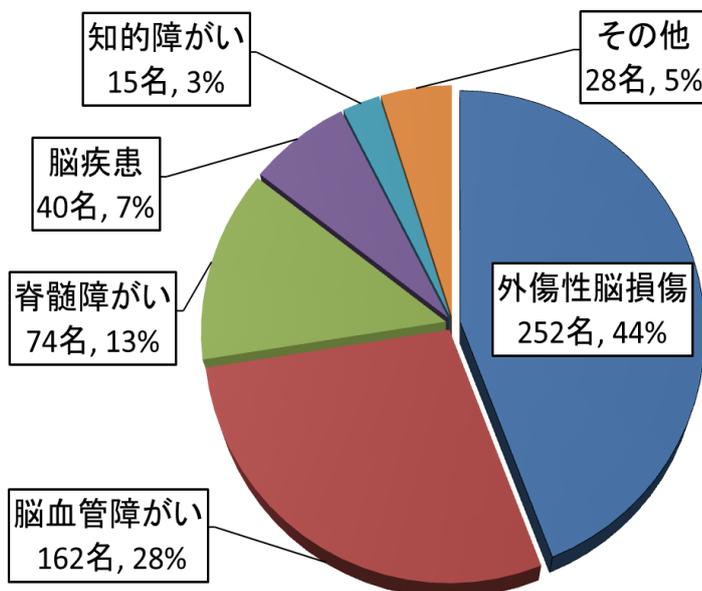


図1 平成26年度利用者(571名)の障がい分類

就職形態	人数	障害分類	人数
新規就労	16名	外傷性脳損傷	5名
		脳血管障がい	4名
		脊髄障がい	1名
		脳疾患	0名
		知的障がい	4名
		その他	2名
復職	34名	外傷性脳損傷	12名
		脳血管障がい	11名
		脊髄障がい	4名
		脳疾患	5名
		その他	2名
自営	8名	外傷性脳損傷	4名
		脳血管障がい	3名
		脊髄障がい	1名
		脳疾患	0名
		その他	0名
		<b>合計</b>	<b>58名</b>

表1 平成26年度の就職者数

## 職能科での職業能力評価

職能科では、すべての病院入院・外来患者さんに初めの窓口として、評価担当者がインテーク面接・作業評価（職能科独自の作業テスト・MWS 簡易版・浜松式高次脳スケールなど）を実施し、大まかな状態を捉えたうえで、患者さんのニーズや状態に応じて訓練部門を決め、訓練担当者に引き継ぎ、支援を開始していきます（写真 2）。職業的な評価は以降も継続され、必要かつ適切な訓練内容や支援を組み立てていきます。



写真2 職能科作業テストの一例

また、支援機関からの相談により職業的な視点での相談・評価も行っています。

『高次脳機能障害の疑いがあるが、診断を受けていない。』

『就労を希望されており、認知面での低下が伺われるが、ご本人に自覚がない。』等、高次脳機能障害による認知面での低下から作業面にどういった影響が出るかが推測されるか、職業準備性はどうか、生活基盤ができているかなど、今後の支援や方向性を決める一助としていただいております。実際には支援機関へ出向き、利用者さんへの面談・作業テスト、作業課題の実施、フィードバックといった流れで実施させていただいております。

ご相談は地域支援センター 高次脳機能障害支援室または職能科までお願いいたします。

（今野 政美）

## 職能科の就職・復職に向けた訓練プログラムについて

職業生活に臨むにあたり、個々人の持っている「強み～セールスポイント～」や「配慮してほしい点」を知り、説明できるようにしておくことは大切なことです。

職能科では、個別の課題に合わせた訓練と模擬職場という職場想定ของกลุ่ม訓練を設定し、仕事への影響を確認して対策を立て、職業生活に向けた準備を整えられるよう支援しております。その他にも問題解決学習という自己理解と問題解決技能を高めていくプログラムを、心理科と連携して必要な方に提供しております。再就職や若年時の受傷(発病)で就労経験のないまま新規に就労を目指している方には、7月より職業準備学習を計画しております。内容は、求人票の見方や履歴書の書き方、ビジネスマナーを含めた面接の方法等就職活動の進め方を予定しています。また、今年も7月にハローワーク厚木、専門援助部門「統括職業指導官」にお越しいただき、ハローワークの役割と就職活動の実際について現状に即した形で講演していただく予定です。他にも、障害者職業能力開発校の一日技能教室の参加等、他機関の見学も計画しております。

今年度もこうした様々なニーズに合わせたプログラムを組み合わせることで、利用者の方々に、よりフィットした訓練プログラムを提供できるよう心掛けてまいりますので、ご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。（山本 和夫）

